

つなごう福祉の絆 安心して暮らせる町づくり

中央第一地区の元気プラン

中央第一地区 第二次 小地域福祉活動計画 2023~2027



中央第一地区社会福祉協議会

ごあいさつ



中央第一地区社会福祉協議会
会長 畠中 聡之

私たちの住む中央第一地区は、八幡東区の中心部に位置し、戦後からの商業地区である中央区商店街を中心とした中央地域と、イオンモール八幡東・シ アウトレット北九州を中心とした東田地域の二つの大きな商業地区があります。また、中央地域には区役所、警察署、地方銀行など私たちの生活には欠かせない施設が、また、東田地域には東田第一高炉史跡、いのちのたび博物館やスペースラボなどの歴史文化施設がたくさんあり新しい学びの場となりつつあります。福祉活動においては平成8年度から「ふれあいネットワーク活動」に取り組み、

「自分たちの地域の福祉課題は、自分たちが解決していく」という目的のもと、「見守り・話し合い・助け合い」の活動を、自治会やまちづくり協議会をはじめ、民生委員児童委員、老人クラブ等、社会福祉関係者と協力して続けてきました。

このたび、北九州市社会福祉協議会において、私たちの活動をはじめ、各校地区での福祉活動の現状を踏まえた「北九州市地域福祉活動第六次計画（令和3年度～令和7年度）」が策定されました。

この計画では、地域住民が地域の様々な福祉課題を見つけ、その課題を解決していくために、地域福祉関係者、関係機関、団体と役割分担を行いながら、取組体系を示す「小地域福祉活動計画」を各校地区で策定することが求められています。

これを受けて、私たち中央第一地区におきましては、福祉の絆を広げるための課題に対応するため、小地域福祉活動計画を策定し、取り組むことになりました。

この計画は、令和9年度までの5か年計画で、地域の皆さんが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して推進したいと考えています。

この計画の実施に当たり、地域の皆さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《目 次》

1. ごあいさつ・目次・・・・・・・・・・1 p
2. 第1章 計画策定にあたって・・・・・・・・2 p
 - 1 計画の性格について
 - 2 計画の期間
 - 3 計画の策定経過
3. 第2章 中央第一地区の現状と課題・・・・3 p
 - 1 地域社会の動向【中央第一地区のデータ】
 - 2 地域の特性
 - 3 地域の福祉課題
4. 第3章 計画体系・・・・・・・・4 p～9 p
 - 1 基本理念
 - 2 基本目標
 - 3 実施項目（体系図）
 - 4 重点実施項目
5. 第4章 計画の推進・・・・・・・・10 p
 - 1 関係団体への承認と周知
 - 2 小地域福祉活動計画推進委員会の設置
 - 3 第二次計画の評価と第三次計画の策定

第1章 計画の策定にあたって

1 計画の性格について

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、中央第一地区の様々な福祉課題を解決するために、住民の立場で関係機関・団体等が将来の福祉未来像を描き、計画的に活動するための行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、中央第一地区に住む人たちの「安全・安心な生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡東区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡東区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 中央第一地区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和5年度～令和9年度までの5ヵ年とします。
計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

中央第一地区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等の意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、中央第一地区の小地域福祉活動計画策定・推進委員会を設置しました。



第2章 中央第一地区の現状と課題

1 地域社会の動向

【中央第一地区のデータ】

2022年9月30日現在

人 口	3,945 人	施 設	名 称
世帯数	2,413 世帯	小学校	八幡小学校
高齢化率	31.9 %	中学校	中央中学校
一人暮らし高齢者 (75歳以上)	590 世帯	市民センター	八幡大谷 市民センター
		地域包括支援センター	八幡東2
中央第一地区社協の構成地域	・中央1丁目～3丁目 ・東田1丁目～3丁目		
その他の社会資源等	八幡東区役所、八幡東区社会福祉協議会、八幡大谷市民センター、八幡小学校、中央中学校、中央しおり保育園、中央区商店街、高炉台公園、東田大通り公園、レインボープラザ、八幡東体育館、いのちのたび博物館、環境ミュージアム、スペースLABO ANNEX、東田第1高炉史跡広場、八幡郵便局、八幡中央三郵便局、福岡ひびき信用金庫、福岡銀行八幡支店、北九州銀行八幡中央支店、日開神社、スペースワールド駅、イオン八幡東		

中央第一地区は八幡東区の中心部に位置し、古くから続く商店街と東田地区にできた新しい大型商業施設が混在する地理的特性があります。

また、戦前より続く中央祇園山笠を地域全体で行う事で伝統文化の継承を大切にする地域です。



3 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

中央第一地区社会福祉協議会では、平成8年度よりふれあいネットワーク活動を展開し、見守り活動や助け合い活動を行ってきましたが、高齢化率が30%を超え、自治区会の加入率が低下しています。若い世代が多い東田地区の住民との関係作りが課題となっています。

第3章 計画体系

1 基本理念「つなごう福祉の絆 安心して暮らせる町づくり」

中央第一地区では、子どもから高齢者まで、安心して暮らせるまちづくりを目指していきたくと願っています。

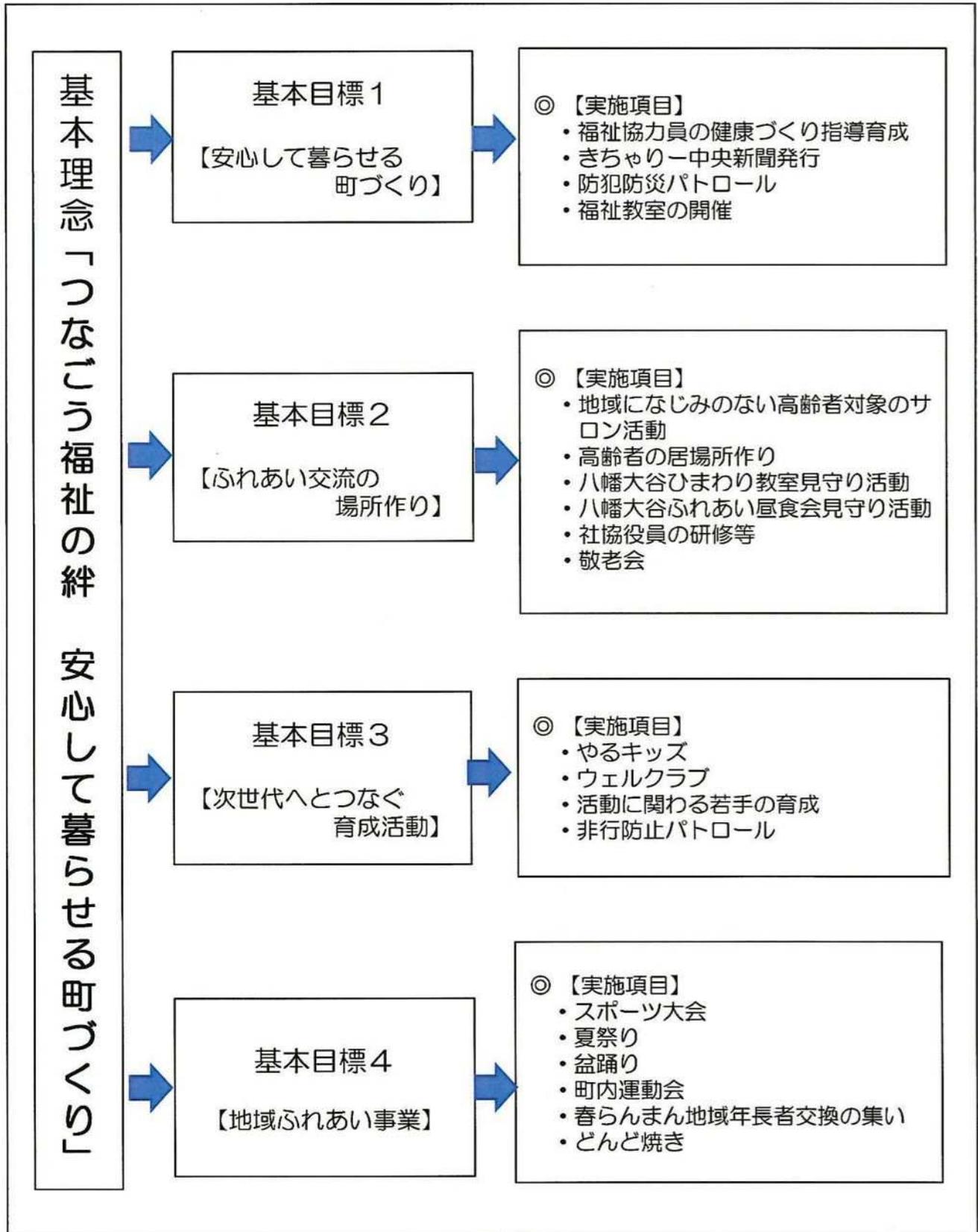
そこで、「つなごう福祉の絆 安心して暮らせる町づくり」をテーマとし基本理念として、計画を推進してまいります。

2 基本目標

- 1 【目標1】 「安心して暮らせる町づくり」
- 2 【目標2】 「ふれあい交流の場所作り」
- 3 【目標3】 「次世代へとつなく育成活動」
- 4 【目標4】 「地域ふれあい事業」



3 実施項目（体系図）



4 実施計画（重点実施項目）

重点実施項目1【安心して暮らせるまちづくり】

1 課題背景及び現状

中央第一地区では町内会長が福祉協力員を兼務しているが、町内会長を1年で変わる町内もあり、福祉協力員の役割がなかなか根付かない。

また、10年以上続く区会広報新聞の発行では、各町内に情報を広げる事が出来ている。



2 活動の方針・目標

連絡調整会議の中で福祉協力員の役割について今以上に理解を深めてもらい、活動につなげていく。その為に地域の中の困りごとを拾い上げ福祉への学びや安心安全なまちづくりにつなげていく。

また、地域全体が元気で過ごせるように、活動の中心を担う福祉協力員の健康づくりを積極的に行い健康寿命を延ばす取り組みを行う。

3 段階的な取り組みの年次計画

取り組み内容	連携機関	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
福祉協力員の育成	自治会 区社協 民生委員	→				
福祉協力員の健康づくり	自治会 区社協 まち協 民生委員	→				
福祉教室の開催	自治会 区社協 民生委員	→				
防犯防災パトロール	自治会 消防団	→				
地域広報誌の発行	自治会 まち協 八幡医師会	→				

4 実施計画（重点実施項目）

重点実施項目2【ふれあい交流の場所作り】

1 課題背景及び現状

未だ地域イベントに参加したことが無い地域住民は多く隣に住む人の顔すら見えにくい。第一次では、小さな区域の中の地域住民に声をかけてサロンづくりを開催した。

初めて地域に出た方もおられ、少しずつではあるが輪は広まりつつあるが、まだまだ開催側が見えていない困りごとはたくさんあると想定される。また、社協役員が研修によって学んだことを、サロンの中で講師として活かすことが出来ている。



2 活動の方針・目標

外に出かけて人と話す事や体を動かすことが健康につながる事は事理明白であり、特に高齢者が外に出かけやすいような関係作りと居場所作りを目指す。その中で地域住民の関心や興味を収集し生きがい見つけや会話を楽しめるサロンの構築を行う。また、中央区商店街と連携を取り地域の中でも集える場所の開拓を行う。

3 段階的な取り組みの年次計画

取り組み内容	連携機関	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
小さなサロンから、大きなサロンへ	自治会 老人会 婦人部	→				
お出かけ活動で広げよう 「おじゃまします！ おあなたの町内へ」	自治会 老人会		→			
地域の商店との連携 「中央町探検」	商店街組合 自治会			→		
体操・ヨガ等 「笑顔で健康づくり」	自治会 老人会 区社協				→	
まとめと第三次計画	自治会 老人会 区社協					→

4 実施計画（重点実施項目）

重点実施項目3【次世代へとつなぐ育成活動】

1 課題背景及び現状

中央第一地区の伝統ともいえるウェルクラブや市民センターを中心とした子ども達の体験の場づくりを行っており地域には定着しているが、コロナ禍では参加者が激減し、子ども達の興味や関心も変わってきている。また、子ども達に良い影響のある活動を支える若手の育成に取り組んでいる。



2 活動の方針・目標

中央第一地区独自のウェルクラブ活動には定評があるが、社会や地域の変化に応じて内容を見直していく必要はある。地域の子どもの健全育成やシビックプライドの醸成を推進するため、地域と学校、家庭が一体となって未来を見据えることが出来るような計画づくりをする。また、活動を担う若手の育成には、保護者世代とのつながりを保ち、意見を取り入れたり任せたりする事でより活動の推進へと繋げていく。

3 段階的な取り組みの年次計画

取り組み内容	連携機関	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
乳幼児との交流や 高齢者交流	乳幼児施設 高齢者施設 自治会	→					
子ども達が体験したい ボランティア活動の実行	自治会 区社協 小学校		→				
防災福祉の取り組み	自治会 市民センター		→				
様々なバリアフリー体験等	区社協 小学校			→			
まとめと第三次の活動を 子ども達と考える。	自治会 小学校					→	
活動を担う若手の育成	まち協 小学校 中学校	→					

4 実施計画（重点実施項目）

重点実施項目4【地域ふれあい事業】

1 課題背景及び現状

まちづくり協議会や自治会の中で行っているお祭りや運動会、どんど焼き等はそれぞれの事業に目的は異なるが、様々な年齢の地域住民が集まり楽しむ事が出来てこの地域には欠かせない事業となっている。どれも歴史ある活動で参加者は楽しんではいるが、「参加者から担い手へ。」の移行は難しく、担い手の高齢化は避けられない状況となっている。



2 活動の方針・目標

それぞれの行事についての目的を更に明確にし、行事を通して今まで以上に声を掛け合い情報収集し、地域の困りごとを見つける。そこから「見守り」「話し合い」「助け合い」へとつなげていくことを目標とする。また、若い世代との交流で活動の担い手へと取り込んでいきたい。

3 段階的な取り組みの年次計画

取り組み内容	連携機関	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
地域行事における見える化の実施 (誰がどう関わり運営しているか)	まち協 自治会 近隣社協	→				
他団体との交流 (地域の特性を生かし住民や各団体と繋がる)	まち協 自治会 近隣社協		→			
仕掛けづくりの見直し (交流を生む仕掛け作りで地域の力を引き出す)	まち協 自治会 近隣社協			→		
世代を超えたコミュニケーション作りで親睦を深める	まち協 自治会 近隣社協			→		
新しいつながり作り (元気なまちにする為に)	まち協 自治会 近隣社協				→	

第4章 計画の推進

- 1 関係団体への承認と周知
地区社会福祉協議会関係団体への計画の承認と周知を行い、協力依頼をする。
- 2 小地域福祉活動計画推進委員会の設置
計画推進のため、中央第一地区福祉活動計画の策定・推進委員会を設置し、計画の進行管理を行う。
- 3 第一次計画の評価と第二次計画の策定
第一次計画の総括評価をし、その結果を踏まえ、第二次計画の策定をする。

第二次 中央第一地区社協小地域福祉活動計画策定・推進委員会名簿

氏 名	所 属 団 体	役 職
畠中 聡之	中央第一地区社会福祉協議会	委 員 長
古野 智慎	中央第一自治区会	委 員
坂本 洋二	八幡大谷青年部	委 員
大河内 哲子	健康づくり推進員の会	委 員
前田 邦子	八幡大谷まちづくり協議会	委 員
橋 美智子	中央第一婦人部	委 員
木原 雅子	民生委員児童委員	委 員
吉川 美基代	中央第一婦人部	委 員
島添 彩	中央第一地区社会福祉協議会	委 員
飯島 啓子	中央寿会	委 員
吉村 敦子	八幡小学校放課後児童クラブ	委 員
竹中 良信	中央第一自治区会	委 員
香月 百合子	中央寿会	委 員

計画策定委員会での協議日程	1回目	2回目	3回目
	令和4年6月10日	令和5年1月19日	令和5年2月24日



中央第一地区社会福祉協議会

〒805-0006 北九州市八幡東区中央二丁目1番1号 八幡大谷市民センター内
TEL/FAX 093-661-1092

八幡東区社会福祉協議会

〒805-8510 北九州市八幡東区中央一丁目1番1号 八幡東区役所内
TEL 093-681-6601 FAX 093-681-6013



北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた内
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351